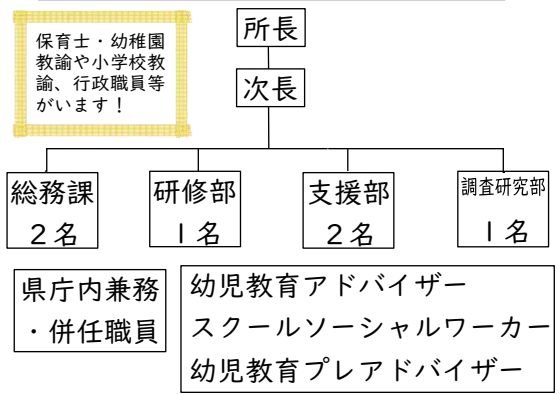


新年度がはじまり、新しい出会いとともにドキドキ、ワクワクが溢れています。乳幼セも3年目を迎え、新しいメンバーとなりましたが、今年度も先生方のお手伝いのできたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

乳幼児の育ちと学び支援センター



所長あいさつ

幼児教育・保育現場の先生方におかれましては、平素から子どもや保護者へ惜しみない愛情を注ぎながら教育・保育の質の向上に努めておられ、深く敬意を表します。移り行く情勢により、現場には多大な役割が求められている中、その御負担が少しでも軽くなるよう研修や訪問支援等を通してお手伝いさせていただけたら幸いです。皆様から信頼される「乳幼セ」をめざし努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

乳幼児の育ちと学び支援センターって？

乳幼児期の教育及び保育が、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることに鑑み、その更なる質の向上を図るため、国公立・私立や施設類型の区別なく、乳幼児期の教育及び保育に関する保育者（保育士・幼稚園教諭・保育教諭）への研修や調査研究、幼児教育・保育施設（保育所・幼稚園・認定こども園等）に対する助言、情報提供等の施策を総合的に実施する拠点です。

乳幼児の育ちと学びプロジェクト

本県における乳幼児期の教育及び保育の質向上の加速化を図るため、

- ①乳幼児の非認知能力や自己肯定感の向上
 - ②特別支援教育の充実
 - ③保育者の自己効力感の向上
- の視点から研修や支援を行っています！

乳幼セコラム いっぱ

こんにちは、スクールソーシャルワーカーです！

スクールソーシャルワーカー 田村 真由美

スクールソーシャルワーカー（以下、SSW）と聞いても具体的に何をする人？と思われる先生も多いかと思います。山口県では平成20年度から子どもと親のサポートセンターにSSWを配置し、平成22年度からは各市町の小中学校へSSWを派遣する体制を整え、児童生徒の環境の改善を積極的に推進する体制をとってきました。

乳幼児の育ちと学び支援センターでは令和4年度から3名のSSWを配置しています。SSWは福祉に関する専門的な知見と関係機関等とのネットワークを生かして、子どもを取り巻く環境に働きかけ、生活の質の向上と、子どもにとって最善の利益が得られるよう支援する活動を行っています。子どもが抱える課題は多様化、複雑化、深刻化しており、子どもを取り巻く環境へ早期から働きかけることが重要だと考えています。背景には、人間関係の希薄さや経済的困窮、社会的背景等が複雑に絡み合っており、園だけで対応することが困難なケースもあるかと思っています。園の先生方と一緒に、SSWは園の伴走者として子どもを取り巻く環境がより良くなるよう対応方法を考えます。

「発達が気になる子どもがいるけど、保護者にどう対応したらいいかしら。」「いつも朝ご飯を食べていないみたい…。」「いつも子どもの表情が暗くて…。」「時々、気になるアザがある。」

今、子どもが置かれている状況を整理し、子どもと保護者を温かい目で見守れる体制づくりをSSWと一緒にしてみませんか。SSWには関係機関をつなぐ役割もあります。関係機関で連携し、子どもの健やかな育ちのネットワークを構築していきましょう。ぜひ、お気軽にご相談ください。